

平成26年度第6回小平市図書館協議会要録

- 1 日 時 平成27年3月15日(木) 午後3時～5時00分
- 2 会 場 中央図書館会議室
- 3 出席者 図書館協議会委員 11名 傍聴者：0名
事務局：中央図書館長、館長補佐兼庶務担当係長、調査担当係長、サービス担当係長、資料担当係長、花小金井図書館長、小川西町図書館長、喜平図書館長

4 配布資料 資料は省略させていただきます。

5 議事

(1) 報告事項

① 図書館運営状況について

- ・図書館行事等の報告と今後の予定について(資料No.1)

(これまでの報告)

- 1月19日 地域資料特別展示「ポスター展」 中央図書館
- 1月25日 冬の日図書館員 全館
- 2月 2日 長野県上田市立図書館視察20人 中央図書館
- 2月15日 大人のための図書館探検ツアー 中央図書館(参加8人)
- 2月21日 ブックリサイクル(一般・児童)全館
郷土写真展 全館 3月12日まで
- 3月 6日 図書館情報検索講座 中央図書館(参加7人)

(今後の予定)

- 3月13日 仲町公民館・仲町図書館開館記念式典
- 3月18日 障がい者サービス交流会
- 3月21日 飯野和好講演会 仲町図書館
- 3月22日 アンサンブルコンサート 仲町図書館
- 3月28日 第17回チャリティ古本市 中央公民館 29日まで
子ども科学講演会 仲町図書館
- 4月 1日 こだいら子ども読書月間 5月6日まで
- 4月14日 平成27年度小平市子ども文庫連絡協議会定例総会 中央図書館

- ・平成26年度月別貸し出し状況について(資料No.2)

2月末現在の資料貸出数は、前年同時期より27,037点減少。新規登録者数は、200人減少、貸出者数も8,256人減となっている。広域利用における貸出者数は、国分寺市が増、貸出資料数は西東京市・国分寺市が増となっている。ここ2年間減少傾向にある

が、今回、仲町図書館の開館と中央図書館・花小金井図書館・小川西町図書館・仲町図書館の開館時間延長により貸出数等の数値がどう変わっていくか、今後検証していきたい。

② ブックリサイクル実施状況について（資料No.3）

本年度分全3回の合計は、昨年度と比較してリサイクル提供冊数は増加したが、リサイクル率は減少した。

③ 3月市議会定例会について（資料No.4）

一般質問について、図書館関係では3件の質問があった

1件目は、「なかまちテラスの防犯カメラ設置基準について」で、具体的には、設置場所と設置個所数及び設置基準についての質問があった。これに対して、設置場所・設置個所は、地下のエレベーターホールと廊下で2台、1階のエントランスホール・カフェラウンジ、学習室で6台、2階のフロアーに1台、3階のフロアーに2台の合計11台設置した。設置基準は、不特定多数の者が出入りする施設において、利用者の安全・防犯のため、施設の出入り口及び職員の目の届かない場所に設置した。運用については、「小平市教育委員会における防犯カメラの管理及び運用に関する要綱」に基づき、適正に取り扱っていくと答弁した。

2件目は、「改正された学校図書館法に基づく学校司書の配置を求めます」で、具体的には、学校図書館協力員の雇用形態、労働条件、配置状況についての質問があった。これに対して、雇用は図書館で依頼し、年間35週、週3回、1日当たり5.5時間の活動という条件で学校に派遣している。活動日は学校ごとに異なるため時間帯は、概ね午前10時から午後4時30分まで、あるいは午前10時30分から午後5時までとなっている。配置状況については、小・中学校全校に1人ずつ配置していると答弁した。

3件目は、「仲町公民館・仲町図書館の現状の課題と今後の体制について」で、具体的には、①建物を見学した人から船酔い感覚するような感じがするが、その認識と解決策、②現在、どんな問合わせや要望があるか、③防犯カメラは全室にあるというが、全室必要なのか、④地下の床がコンクリートのままだが、床材を入れることは可能か、⑤施設のランニングコスト、また、エキパンドメタルの清掃方法は⑥市民は実用性を求めているが、市の考えについてはの質問があった。これに対して、第1点目は、今後は、書架などの備品を設置し、さらに図書資料を排架していく中で、そうした印象は緩和されるものと考えている。第2点目は、障害者団体から、館内の表示をわかりやすくとの要望があったため、現在、対応中である。第3点目は、設置目的として利用者の安全と防犯のため、施設の出入り口及び職員の目の届かない場所に設置。運用に当たっては、「小平市教育委員会防犯カメラの管理、及び運用に関する要綱」に基づき適正に取り扱っていく。第4点目は、設計者の意図として、外部空間と同じ印象を与えるデザイン上

の仕上げとして、1階の床と同様の構造体を成すコンクリートで仕上げているため、床材を入れる予定はない。第5点目は、維持管理費として、光熱水費、建物管理保守点検等を合わせ概ね年間2千万円。また、外装材の清掃については、年2回の高圧洗浄を予定、費用は建物管理費に含まれているが、概算で10万円となっている。第6点目は、市の考えとして、なかまちテラスは、公民館と図書館を単に合築するのではなく、双方の機能の乗り入れを図る新しいタイプの施設であり、生涯学習の振興と地域活性化の両面を狙った施設と位置付けていると答弁した。

また、予算特別委員会の中では、5人の議員から7点質問があった。内容としては、仲町図書館関係が3点、ワイファイ関係が2点、宅配サービス関係が1点、分室関係が1点あった。来年度当初予算については、次回の図書館協議会で報告する。

④ 「第3次小平市子ども読書活動推進計画」におけるパブリックコメントの結果について（資料No.5）

3人から3件の意見があり、参考意見としたものが2件、反映しないものが1件であった。よって、素案の変更はなく、今後の予定は、3月19日の教育委員会の報告を経て、3月末までに計画書を作成する予定である。

⑤ なかまちテラスの開館について

3月13日午前10時から開館式典を行い、午後6時から妹島和世氏の講演会をルネこだいらの中ホールで開催する。翌14日午前9時から利用開始となる。

<報告事項についての質疑・応答>

委員：図書館における防犯カメラの設置状況と設置目的は。

事務局：中央図書館と小川西町図書館に設置してある。設置目的は、「小平市教育委員会防犯カメラの管理及び運用に関する要綱」に基づき、犯罪等の予防を目的として、不特定者が出入りする場所を撮影するために設置しており、犯罪行為の抑止を期待している。

委員：本の盗難ということではないのか。

事務局：基本的に犯罪行為の抑止のためである。

委員：図書館以外の設置要望があると思うが、小平市は防犯カメラ設置条例がないので、今回の施設での設置については違和感がある。

事務局：公共施設以外として、通学路への設置については予算を計上している。

委員：小平市では不審者情報が結構出ている。また最近、放火事件が起きているので、防犯カメラがあれば役に立つと思う。

委員：原田マハさんの講演会は、大変良かったと思うので、このような講演会をぜひ次回もお願いしたい。

事務局：これまでは定型的な行事が多かったが、昨年度から広く一般的に知られている作家も利用層の拡大を目的に依頼している。来年度も同様にと考えている。

- 委員：図書館の開館時間が変更になるが、市報への掲載予定はあるのか。
- 事務局：3月20日号の市報に掲載予定である。
- 委員：夜6時以降の来館者数の統計を取り、本当に時間延長の効果があるのか今後研究する必要があると思う。
- 事務局：現在、来館者からアンケートを取ることを検討している。また、図書館システムにおける統計処理ではわからないため、今後、調査時間を決め、来館者数のデータを取り、検証をしていきたい。
- 委員：市民の要望に応えた開館時間延長はありがたいが、結果、実際に必要があるのかを今後考えるべきではないか。
- 事務局：一つは、費用対効果の面がある。3館を1時間延長すると建物管理委託料と光熱水費で年間約400万円程度かかる見込みである。今後、時間延長にかかった予算分だけの効果があるかを検証していく必要がある。
- 委員：開館時間延長は、近所の人にはあまりメリットがなく、遠くから来た人にはメリットがある。
- 事務局：小平市の特性として大都市近郊の郊外という特徴がある。仕事帰りに寄れることを考えると一番効果が現れるのは、花小金井図書館と考えられる。逆に中央図書館は勤め帰りの人には不便であると思う。
- 委員：時間延長による人件費については、職員の勤務シフトの工夫によりあまり変わらないのはありがたいが、開館しているということで、光熱水費がかかることとなる。
- 事務局：今回の時間延長により、職員の会議等の時間設定が難しくなってきたので、今後、工夫していく必要がある。
- 委員：嘱託職員やアルバイトが増え、ワンフロアに司書が一人付くか付かないかの状況が他の図書館でも起きている。そういう事も起こりうるのではないか。
- 事務局：今回、仲町図書館は直営で運営するが、今後は仲町図書館の検証次第ということも考えられる。
- 委員：全国的に貸出数が減少していると聞いたが、この貸出統計から何か動きがあるか。
- 事務局：多摩六都の図書館でも減少傾向にある。
- 委員：全体的な読書離れにより、貸出数が減少、また本の販売数も低下していると思うので、今後、読書推進の働きかけが必要と考える。
- 事務局：電子書籍の利用が今後増えていくことも考えられる。
- 委員：以前、図書館協議会の提言の中で千代田区の電子書籍の例を出した。当初は目新しさで利用もあったが、今は横ばいか、微減である。現在、市場の中の電子書籍、つまりスマートフォンの利用が普及している中で、もしかしたら電子書籍的なものに対する図書館サービスが増えていると思うが、ある程度図書館向けのサービスシェアが寡占状態になってきてからでも遅くはないと思う。
- 委員：例えば、雑誌の個人向けサービスで、月額400円で100誌以上のタイトルを見るこ

とができる。一誌の雑誌を毎週買い続けるより安くなる。しかし付録は付かず、すぐ消えてしまう。

委員：単行本と同じ値段のついているものは、永久的にアクセス権があるのか。

委員：それも契約上消せることとなっている、ほとんどの電子書籍も同様である。雑誌で言うと表紙に契約の関係で芸能人の写真が載らない。公共図書館という立場を考えると、まだまだリスクが高いので、手を出さない方がよいのではないか。

委員：国立国会図書館の電子書籍対応はどうなっているか。

事務局：要綱がもうすぐできるので、年度当初には申請していきたいと考えている。

委員：国立国会図書館のような安定しているサービスは、積極的に対応した方がよいと思う。

委員：仲町図書館の北側駐車場の地面は傾斜がないため、雨水による水たまり多くできるため早めに改修した方がよい。

事務局：早めに対処していきたいと考えている。

委員：小平市のように学校図書館と公共図書館とのネットワークがきちんと出来ているところは少なく、図書館行政は進んでいると思う。

委員：そこにさらに学校図書館司書が入っていると、万全だと思う。

委員：なかまちテラスの館内の撮影は禁止か。

事務局：特に禁止はしていない。中央図書館では、他の利用者の迷惑にならないように撮影をお願いしている。また、場合によっては、職員も立ち会っている。

委員：貸出数の減少要因は読書離れ、もう一つは少子化による人口の減少が考えられる。人口減少の影響は、今後あらゆる施設で利用者の減少傾向につながっていくと思う。このような少子化の流れの中では、今後、利用者減を見込んだ運営をしていかないと、実質減というところにズレが生ずると思う。

事務局：市の統計を見ると市民の約半分の人が図書館を利用していない。そういう人たちを今回のような情報検索講座等を活用しながら呼び込んでいく。また、その他本の面出しを行い、自分が読みたい本以外の本にも興味を持っていただくなど方法を工夫していく。仲町図書館もティーンズコーナーの中身を工夫したものにした。

委員：最近、滞在型の図書館で貸出数だけを追い求めない傾向にある。貸出しが減少しても、きちんと利用してもらえというものを他の統計から出せばよい。ゲートというのはその人がどれくらい滞在したかわからない。もし統計を取るのであれば、まだ始まっていない仲町図書館で、人の滞在時間の統計を取る方策を始めるとよいと思う。

事務局：新しい図書館に見合った統計方法がない現状である。

委員：ゲートの統計は、入館と退館だけなので、ある人はすぐ出たのか長時間滞在したのかわからない。何らかの機械的な装置によって手間をかけずできる仕組みがあればよいが。

委員：仲町図書館と公民館が一緒になり、普通の図書館より滞在時間が長くなるよう工夫されているので新しい利用者が来館し、これを数値で見える形にすると建設した意義の説明にもなる。

事務局：館内には、読書席や椅子もかなり設け滞在にも配慮している。

(2) 協議事項

①平成27年度小平市立図書館事業計画（案）について（協議資料1）

昨年度との変更点を示しながら内容について説明する。

1 ページ目の基本方針の中に「平成26年6月には学校図書館法が改正され、学校司書が法律上に位置付けられ、研修について法文に明記された。」を掲載した。2 ページ目の小平市教育振興基本計画における図書館の主な施策の中に、図書館では、平成27年3月に「第三次小平市子ども読書推進活動計画」の策定を掲載した。

「2 推進事項」の（1）主な事業では、②寄贈された平榎田中氏所蔵資料を、整理・保存すると共に利用者へ提供、⑦図書館の開館時間拡大の試行、⑧40周年記念事業の実施、⑨中央図書館にワイファイ機能を設置し新たに推進する項目である。

「3 実施事業」の（6）レファレンスサービスでは、仲町図書館の商用データベースとしてヨミダス歴史館、ジャパンナレッジ、ポプラディアネットの掲載と、⑧図書館情報検索講座を今年度に引き続き実施し、レファレンスの充実を図っていく。（10）「第3次小平市子ども読書活動推進計画」の広報・啓発を掲載、（11）小・中学校との連携推進の中で新仲町図書館の役割を追加、（12）ハンディキャップサービスでは、来館が困難な方に対する宅配貸出サービスの実施を追加するとともに、（17）図書館ボランティア活動の促進の中で、来館が困難な方への宅配サービスの実施を表記した。その他、（24）のなかまちテラス事業の実施、（25）の開館時間拡大の試行、（26）ワイファイ機能の整備、（27）図書館開館40周年事業の実施を付け加えた。

<協議事項についての質疑・応答>

委員：新聞のデータベースに関して、各新聞社によっていろいろ書く立場が異なっているので、できれば館で検索できる新聞社を1～2社にしたほうがよいと思う。

事務局：今後は仲町図書館のデータベースを検証した上で考えていく。

委員：齋藤素巖の資料が寄贈されていると思うが。

事務局：他の部署で預かっていると思う。

委員：グリーンロードに作品が展示してあるが、もっと他にもあるのではないかな。今後整備していったらどうかと思う。

委員：3ページの（5）地域資料等の収集・整理・保存及びデジタル化の中の①に、市史編さん資料も入れておいてもらいたい。

委員：デジタル化を推進すると書いてあるが、作られたデータの保存に関して、どこが後世に責任を持って伝えるかの言及があった方がよいのでは。また、今はどうなっているのか。

委員：保存だけの問題だけでなく更新の問題も出てくると思う。

事務局：今はデータを読み込んでいるところである。

委員：読み込んだデータは、どういうメディアを使用しているか。

事務局：パソコンのハードディスクに保管され、バックアップは取ってある。

委員：オリジナルとバックアップが同じ場所にあるのはよくない。

委員：ワイファイの使い方は、利用者登録をするのか。

事務局：登録の必要なく、メールアドレスを登録すれば誰でもできる。

委員：広告や新聞切抜き記事のデジタル化は可能か。

事務局：広告は問題があってできない、新聞切抜きはホームページに載せている。

委員：児童サービスの⑤学校課題図書は学校が決めるのか。

委員：学校で決めている。

委員：7ページの(23)広報活動の中に、今度仲町図書館に入れるデジタルサイネージを加えたほうがよいと思う。

委員：なかまちテラスを管理する者はいるのか。

事務局：なかまちテラスの館長はいない。仲町公民館長と仲町図書館長が対等の立場で管理していく。

②平成27年度小平市図書館協議会日程(案)について(協議資料2)

慣例により2か月ごとの木曜日に開催する予定で組んでいる。